

□口繪『圍爐裡』は信州山中の作にて  
ワットマン四ツ切に御座候

□次號の原色版は、ブレバゾン氏の風景  
畫及び大下氏の「國府津の朝」、他に石版  
一葉を登載致可候

□五週年紀念號の計畫には御賛同の聲少  
なからず、よつて實行致す事に決し申候。  
就ては御希望の方は早速御申出ありた  
く、スケッチ及びスタデー共、かゝる低  
き價にては他日再び諸君の御手に入るこ  
とあらざるべしと存候

□本會同人河合新藏氏のために、氏の友  
人等は今回無涯畫會を催し候、巻尾廣告  
御一覽の上御賛助を仰き度候

□『みづゑ』特價販賣續々御申込ありて、  
多數の缺本を生じ候、従つて價格に相違  
を生し候に付、今後の御註文は本號廣告  
の價によられたく候

□讀者より直接質問をよせられ候分、是  
迄一々御答へ申上置候へとも、都合上今  
後は本誌『問に答ふ』欄のほか、タトへ返

信料附にても一切直接に御答致さぬこと  
に相成候に付、御承知置下されたく候。

但、會友諸君は此限りに無之候へども、  
可相成問答欄にて願上候

□『讀者の領分』御投稿は、出来るだけ簡  
單に願上候、長文は削除又は没書可致候

## 近 事

△日本水彩畫會研究所一月例会は、新年  
會を兼ね、二十三日午前より開會、正午  
前繪畫の陳列を終り、午後より會員の餘  
興十數番あり、各自充分に歡を盡し夜に  
入つて散會したり、詳細は次號に

△太平洋畫會新年會は、一月十五日下谷  
區谷中眞島町なる同會研究所に於て催さ  
れたり、本年は研究所創立五週年に相當  
するを以て、關係者及各新聞記者を招待  
し、盛なる餘興あり、夜十二時散會した  
り

△日本水彩畫會研究所横濱支部にては、  
九日横濱に於て新年會を催ふし、來賓及  
會員合せて二十五名、福引及び種々の餘  
興ありて午後九時頃散會したり、猶同支

部の田中太郎吉氏は成績殊によく、今回  
特待生の待遇を與へられたり

△日本水彩畫會研究所の會員たりし、藤  
田紫舟深川勇雄氏等主唱となり、日本水  
彩畫會關西支部を設くべく専ら盡力中な  
り、趣意書は左の如し

### 日本水彩畫會關西支部 創立廣告

斯道の老大家淺井先生逝きて以來、關  
西の水彩畫界振はざるもの久し、生等  
茲に決する處あり、東京本部の讚諾を  
徑、敢て同好の諸兄弟に謀つて當支部  
を創始し、以て尙き趣味と樂しき技術  
の向上に資せんとす、専門家と否とを  
問はず、パレットに親しむの人にして  
眞面目に水彩畫を研究せんとする諸  
君、願くば生等の學を賛し、筆を提げ  
て來り會せずや。 發 起 人  
追て當分事務所を左の處に置く有志の  
諸君は郵券二錢封入當事務所宛申込ま  
れたし。

近江國膳所町字錦木、下藤田紫舟宅